

第227回 番組審議会

1. 日時 平成25年11月12日(火) 12:00～
2. 場所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委員 委員総数 11名  
出席委員数 10名(欠席委員数 1名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)

—以下50音順—

木戸場 美代子

加藤 裕一

久慈 浩介

斎藤 純

菅原 正二

原 圭介

八木橋 伸之

役重 真喜子

吉田 浩次

○ 会社側出席者(6名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)

小原 忍(専務取締役)

藤原 銀司(取締役営業局長)

工藤 浩(取締役総務局長)

君沢 温(岩手めんこいテレビ編成部部長)

高橋 裕二(岩手めんこいテレビ報道部主任)

○ 事務局 佐々木 久仁子

#### 4. 議 題 「スポーツコンテンツとして『バレーボール』に対する めんこいテレビの取り組みについて」

#### 5. 議 事 概 要

今回は、めんこいテレビの「スポーツコンテンツとして『バレーボール』に対する取り組み」について報告をし、委員からの質問や意見を受けました。議事の概要は以下の通りです。

##### ●岩手めんこいテレビ君沢編成部長からの説明

・放送局として地域のスポーツ振興に力を入れるという事は重要なことで当然なことだと考える。めんこいテレビではバレーボール、特に高校生のバレーボールに力を入れており全国高等学校バレーボール選抜大会「春高バレー」の岩手県予選決勝は当日の午後放送し、全国大会は1月に放送している。

・岩手県大会の実施にあたっては、参加校紹介CMを放送、夕方のm i tスーパーニュースで2週間に渡り話題校を紹介するなどブームアップを行っている。

・次世代のバレープレーヤー養成事業として行った「コーチングキャラバン」や「バボキャラ」が実を結び、盛岡女子高、現在の盛岡誠桜高校出身の高橋沙織選手や細川絢加選手が日立リヴァーレで活躍し始め、全国的にも知名度が上がってきている。

##### ●岩手めんこいテレビ 高橋報道部主任からの説明

・バレーボールの実況を担当する上で心がけているのは、気持ちの良い描写と見どころを紹介する観察力。自身でもバレーボールを体験し、いかに選手達が難しいことをしているのか視聴者にわかるように伝えている。また、全国大会での実況ではイントロで視聴者に興味をもってもらえるようエピソードを盛り込む工夫もしている。

・県内の高校バレー男子は、長年盛岡南高校と不来方高校の二強だったが、一ノ関修紅高校や花巻東高校も力を入れておりどんどん強くなっていくだろう。女子について、今年は敗れ

てしまったが盛岡誠桜高校が引っ張っていく存在だった。今年は学校が被災した高田高校が全国大会に出場する。いろんな思いを胸に秘めた選手達の活躍に期待している。

#### ●出席した委員からの意見

・スポーツの振興にテレビの力は大きい。日本のバレーボールが世界大会で活躍できない時期もあったが、最近元気が出てきたところなので、岩手出身の選手が世界で活躍できるようバックアップしていくことができれば良いと思う。

・2020年の東京オリンピックに向け、またバレーボールの黄金時代がやって来るよう盛り上げて行ってほしい。

#### 6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

#### 7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

- \* 平成25年11月13日(水) 産経新聞 東北版
- \* 平成25年11月23日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ 番審りポート内で放送
- \* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

#### 8. その他の参考事項

特になし